

授業構想シート

児童の実態

特に学習面に関して、面倒臭いという理由から自分の考えをだけを主張してくる児童が半数ほどいる。生活面に関しては、相手のことを考えた行動をできる児童がほとんどである。ただ、その理由が、お互いに気持ち良く生活するためではなく、トラブルを起こさないという消極的な理由であると思われる。

授業の振り返り（児童の言葉）

権利は誰にでもあって、それぞれの権利が大切にされるべきだと思う。でも、自分の権利が誰かの権利を奪ってしまっていることもある。その場合は、よく話し合い、自分も相手もお互いのために譲り合ったりできることをしていきったりしていくことが大事だと思う。これからは、自分の権利ばかり主張せず、相手のことも考えて行動していきたい。

児童の発言

自分の権利だけでなく、みんなの権利が大切にされるべきだな。

児童の発言

相手のことを考えて、譲れるところやできることはしていこう。

児童の発言

話し合ったりして相手のことをよく知ることが大切だな。

中心発問

ピアノをひく家の人、ピアノの練習時間や位置を変えたり、音がひびかないように工夫したりしようと思えたのはどうしてかな。

基本発問

「ピアノがうるさい。」と苦情を言う人・言われた人は、それぞれ相手の人に対してどんなことを思っているかな。

補助発問

相手とのトラブルを避けたいのなら、ピアノを辞めればいいのか。

権利と義務の関連を考え、相手の権利を尊重するとともに自分の権利を正しく主張し、また、自分に課せられた義務を果たそうとする態度を育てる。